



刊夕 日十二月五
発行所 新潟県平野町大町五
新いわき新聞社
編集長 平野大町五
発行所長 平野大町五
印刷所 新潟県平野町大町五
印刷所長 平野大町五

片倉の養蚕組合 春蚕成績頗る良好

會社の方針に取越苦勞なく
良品の廉費多産に専心

平野の磐城片倉製糸會社に屬する養蚕組合は百三十組合の戸數二千二百(石城六分取葉四分)で掃立の早きものは本月七、八日過ぎは川前方面に於ける來る二十三、四日を最終とし普通は日下二階時であるが獎勵種支々交配大安満月(白)を初め一般に經過頗る良く昨年の蠶種卵量十三グラムを十七グラムに増加した六千枚の掃立を以て目下の好状況では一枚當り收繭八貫餘總量五萬貫の春蠶收入を見込まれ繭價の先行きに對しては世上に悲觀說少なからざるも同社は之れに拘泥なく養蚕家と苦を共にしてある從來の信ずべき態度があるので蠶家の何れも先越の苦勞を忘れ良品の

郡下の春蠶 經過頗る順調

石城販賣利用組合で
はやくも市場開設協議

郡下の春蠶は目下何れも二眠前後、早くも三眠程度で天候も順調であり桑葉も案ぜられた被害にも未だ脅かされないので桑蠶ともに經過頗る良好で來月上旬には上級はじめの二三日頃から收繭の見込であるが、石城販賣利用組合では廿一日午後一時から平野前農業者會に役員會を開き四合商市場開設資金借入の件その他につき早くも協議をなす筈である、尙今年も四万貫程度の取引をする豫定で市場開設は

親が死んでも 家へ歸れぬ娘

横濱新報社
平野町開町七二草花商店野信次郎(四三)は數日前死亡したの妻たつ(三九)が神奈川県平野町開町新報社で女工稼ぎをしてゐる娘はな(二七)に歸郷する様電報を出した所、同會社では目下争議中で歸宅出来ぬと云ふ返事が争議園から來たので母親から娘を是非歸宅させたいと呉れる様にと二十日平野へ願ひ出て來た

兩殿下の 御買上

光榮に喜ぶ
平の四商店
朝香宮字彦王、季鏗公兩殿下、陸軍士官學校生徒の御買上格を以て過般石城郡下に行はれた同校の演習に御参加御滞在の中の一週間平野に於ける菓子舖松月堂、三三三屋肉店、天寶錢パンヤ、南野茶園八百新事長瀬眞意の四店何れも御用品御用達の命を受け家族一同平野の健康診察の後夫々御買上を辱ふし共に其の光榮を一家の榮と喜んでゐる

今曉紺屋町の火事 忽ち四棟五戸を全焼

今年に入つて之で五度目
二十日午前零時十分頃、平野紺屋町四〇材木商織田末松方から發火、折柄西南の風に煽られて火足頗る早く駆けつけられた消防組必死の防火も効なく忽ち隣接せる折箱製造業中野長三郎、職工草野勘三郎、同鈴木庫吉、無職戸塚もと方等四棟五戸を全焼し野村芳三及及び非住家一戸を半焼して同三時漸く鎮火した損害一萬圓の見込で原因は平野で關係者を引致取調中であるが火元と推定される織田方では四年前にも出火したとあり平野町の火事騒ぎは今年に入つて五度目のことである町民は全く不安におびえ切つてゐる

愛國機へ献金

江名町では愛國機製造廠献金として此程三百五十圓を送金したが縣の割當額より九圓多かつた

溺る、幼兒を 救つた青年に

救はれた親から
表彰状贈り出る
平野五丁目高羽英夫長女である子(五)は十四日午後一時半頃同町地内愛谷江筋附近で遊戯中誤つて河中に墜落危ふく溺死せんとしたのを通りかゝつたた立町二林之助二男伊藤稻吉

消防夫負傷

平野消防組第一部長次郎吉

あわび漁不振

各漁業者悲鳴
江名、豊間、小名濱の各漁には各々鮑採取組合があり近年まで相當の收穫があつたが最近では採取を禁ぜられてゐる幼鮑まで採取してふため年々減少しつゝある本年もそのる漁期に入つたが取引先との相場協定せざるため未だ採取に着手してゐないが相場の決定次第來月中旬頃より一齊に採取販賣にかゝる豫定である

各地雑信

江名町消防組では今度千五百圓を以て自動車ポンプを購入することとなつた
江名町出身坂本要外二君は蒲州事變應召中のところ十八日凱旋した
江名町に於ける各漁船は鮑のため十八日一齊に出動してしまつたのでボテフリ連はとんと不況に陥り悲鳴をあぐてゐる
平野村在郷軍人分會、青年團主催で二十日午後二時から同村小學校に凱旋兵士六名の歓迎會を開いた
平野村農事實行組合では二十日午前十時から同村小學校で總會を開いた

平魚市場せり市

平魚市場のせり市は廿一日か

謝近火御見舞

今曉近火の際は早速御馳付消火に御盡力なされ御蔭を以て災厄を免かれ候段厚く御禮申上候一々拜趨申上可の處御尊名うかがひもれも御可有之候間乍製儀紙上を以て御挨拶申上候 敬具
平野紺屋町 藤沼平次郎

謝近火御見舞

今曉近火の際は早速御馳付消火に御盡力なされ災厄を免かれ候段厚く御禮申上候一々拜趨御禮申上可の處御尊名何ひ洩れも可有之候間乍製儀紙上を以て御挨拶申上候 敬具
平野紺屋町 吉田安雄

謝近火御見舞

謹啓昨夜近火の際は早速御馳付御見舞を賜り且つ消火に盡力被成下御蔭様を以て鎮火致し候段有難御厚禮申上候一々拜趨御禮申上可の處混雑中御尊名伺ひ洩れも可有之候間乍略儀紙上を以て御禮申上候 敬具
山崎與三郎

平商警中二回戦

平商對警中定期野球二回戦は
廿一日午後二時から警中グラウンドで開くが警中見事に優勝するか平商ストリートで警中を居るかフアンの興味を沸かしてゐる

近火御見舞御禮

今曉近火の際は早速御馳付消火に御盡力被下以御蔭鎮火致し候段難有御厚禮申上候一々拜趨御禮申上候御尊名伺もれも可有之候に付乍略儀紙上を以て御禮申上候 敬具
平野紺屋町 白井一郎

近火御見舞御禮

今曉近火の際は早速御馳付消火に御盡力被下以御蔭鎮火致し候段難有御厚禮申上候一々拜趨御禮申上候御尊名伺もれも可有之候につき乍略儀紙上をもつて御禮申上候 敬具
平野紺屋町 炭屋旅館 關内喜久次郎

近火御見舞御禮

平野字材木町 榎田榮太郎
平野字材木町 島辰次郎
平野字材木町 長瀬富彌
平野字研町 吉村安次郎
平野字研町 白萩屋島廉輔
平野字紺屋町 柳下元吉
平野公園下 方フエー松ヶ岡
平野字紺屋町 大谷建材店
店主 大谷文夫

農業方

三葉と栽培

石城分場 小島三千雄
 而して十二月中に軟化品を得んとせば充實を完全にする爲め追肥は八月下旬一回に止むべきであら、肥料の種類は抽苔の愛ひなき此の期に於ける成育を旺盛になすべく、又充實を完全になすべく窒素速効肥料を用ひ其の一例を示せば

追肥二回の場合
 第一回、八月中旬、人糞尿一五〇貫、過磷酸石灰一荷には四合宛
 第二回、九月中旬、人糞尿八〇貫

追肥一回の場合、八月中下旬、人糞尿二〇〇貫、過磷酸石灰一荷に付四合

以上の諸管理を了し、三回結霜したる十一月月中旬に莖葉黄變せる時、根を傷げざる様掘起し、土を落して便宜上一把百四五十匁束とし三、四本のわらにて結束し葉柄は一、二寸内外に切斷し寒冷なる畑地に假植し置くものとす、三葉は根に貯蔵されたる養分により再生軟化するものなれば、掘揚げ操作に丁寧を要し尙ほ三葉の根は太く長きものが再生力強く粘質地に栽培したるものはひげ根を多く生じ良好の軟化物を産し難い

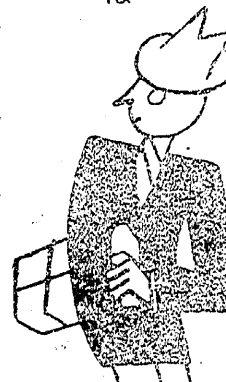
土當障、うども三葉と同じく軟化蔬菜類中重要なるものにして本邦の原産にして山間地には未だ野生なるものが多い、冬期不用品として優良なる軟化品を得んとせば此れ又根株の養成が其の技術の大半をしむるものである

印刷物は「彩麗なポイントにて良く安く早く」
 一般の御注文に應じます
 平町大町
 新しいわき印刷部

平町 市原醫院
 内科 小児科 梅毒 淋病
 電話 四一七番

平町 藤沼醫院
 入院需應
 電話 五〇七番

高島屋洋服店
 裁縫 模範
 夏服の御用命は
 高島屋へ
 新柄着荷



藤の園に遊ぶ様な
 食堂の装飾を
 と覽下さいませ
 美しい女給のサービス
 カフェエータヒラ
 電話 六二〇番

諸毒下しの天妙薬
 安流丸
 特約山野邊藥局

生ビールは濕氣中
 お休み致しまして
 それに代るウ井スキー調味の
 お口に召すものを差上げます
 お鳥目は生ビール大カツ同様な十五錢
 レストラン サロン
 電話 三五二番

大谷建材商店
 化粧、タイル、販賣並に設計請負
 タイル、の御相談は當店へ
 親切第一を、モットーとします

大森醫院
 内科 小児科
 醫學士 大森 勇
 電話 二五八番

煙突は、朝日
 石綿セメント製
 朝日煙突
 経済的で
 突風の心配あり
 谷屋商店

高久病院
 内科、小児科
 外科、花柳病科
 耳鼻咽喉科
 レントゲン科
 平町大町、電話 五二三番
 院長 醫學士 高久忠

中島寫眞館
 よろちございますか
 うちりますよ



明雲堂眼科醫院
 入院應需
 平驛前(電話 六六九番)
 自炊の便あり

信夫屋洋服店
 最新流行 洋服調製
 仲町に洋服店が出来ました
 工賃本位が弊店のモットー
 迅速他の 追従を許さぬ勉強
 平町仲町一五番地
 店主 齊藤 平一

